



医師 久保友次郎 (H26 卒)

当院の外科系後期研修プログラムでは各臓器別のローテーションが組まれており、2年間で外科医としての基礎をみっちり築き上げることができます。私の場合、4年目まで前施設で研鑽を積み、5年目で当院へ赴任し、最初から呼吸器外科を専門科として修練を始めています。当科ではハイレベルな肺癌手術だけでなく、転移性肺腫瘍や気胸・膿胸、縦隔腫瘍など年間350例を超える豊富な症例の数々を経験できることが魅力です。症例に応じて開胸(腋窩縦切開、後側方切開、胸骨正中切開、Trans-manubrial Approachなど)・胸腔鏡補助下(hybrid VATS)・完全胸腔鏡下(complete VATS)の各アプローチ方法を使い分け、05/30 ロボット手術第1例目が予定されています。気管支形成・肺動静脈形成や胸壁合併切除などの拡大手術も行っています。もちろん、数多く執刀もさせていただきます。こんなにも呼吸器外科手術の経験が積める施設は滅多にありません！また、呼吸器内科や放射線治療科、病理診断科の先生方も仲が良く、優しい病棟スタッフにも囲まれ、明るく楽しい呼吸器チームとして非常に働きやすい職場環境です。さらに、病院から徒歩圏内に繁華街があるため、いつでも気軽にみんなで街へ繰り出すこともできます。当院も当科も魅力が多すぎて、一つ一つ挙げていけばキリがありません。百聞は一見に如かず、まずは是非一度見学にお越しください！お待ちしておりますお待ちしています。

～ 交通アクセス ～

【電車】

- JR 広島駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 2系統宮島線 約12分 紙屋町東下車
徒歩 約7分
- JR 横川駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 7系統 約13分 紙屋町西下車
徒歩 約9分

【バス】

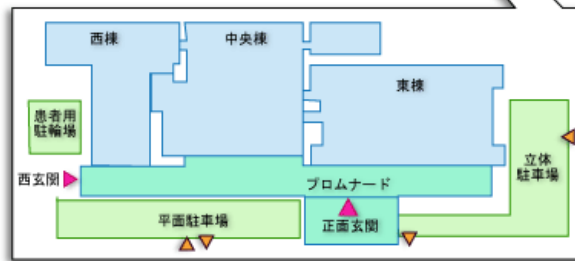
- バスセンター下車 徒歩 約7分

【アストラム】

- 県庁前下車 地下道より直通

【飛行機】

- 広島空港→バスセンターまでバスで約50分位



地方独立行政法人広島市立病院機構
広島市立広島市民病院
呼吸器外科
のご案内

基幹型・外科領域

当院は、基幹型・外科専門研修プログラムの基幹施設です。

	基幹型専門研修プログラム名等	期間
基幹施設	広島市民病院群外科学科専門研修プログラム	3年
連携施設	庄原赤十字病院・広島市立舟入市民病院 広島通信病院・川崎医科大学付属病院	

20200601



最高の仲間と、最高の場所で、最高の研修を！

広島市立広島市民病院

〒730-8518

広島県広島市中区基町7番33号

電話番号: 082-221-2291(代表)

FAX 番号: 082-223-5514(代表)

<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

《病院見学等問合せ先》

事務室総務課人事係(研修管理委員会) 有馬・長谷川・児玉

E-mail: hiro-kensyu@hcho.jp



地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院
Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital

呼吸器外科に興味がある方へ



呼吸器外科主任部長 松浦求樹 (S57 卒)

当院で外科医としての第1歩を！

呼吸器外科に興味のある外科志望の君、広島市民病院で第1歩をスタートしてみませんか。呼吸器外科はもとより心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科まで幅広く研修できることをお約束いたします。資格：外科専門医・指導医、胸部外科認定医、呼吸器外科専門医、呼吸器外科評議員、肺癌学会評議員



呼吸器外科部長 藤原俊哉 (H9 卒)

一緒に全国レベルで戦いましょう！

悪性腫瘍から急性疾患まで、主に胸腔鏡手術を習熟したい諸君！若い力を待っています。手術、学会発表、誌上発表、プライベート？多岐にわたりご指導いたします。全国レベルの手術、学術発表を目指し、ぜひ一緒にがんばりましょう！

資格：外科専門医・指導医、呼吸器外科専門医、呼吸器外科評議員、気管支鏡専門医、呼吸器学会専門医、CT検診認定医、がん治療認定医・暫定教育医、ICD

呼吸器外科スタッフ



研修目標

研修目標は画像診断と手術（助手、執刀）について習熟することです。そのほか、肺癌診療においては、呼吸器内科、放射線治療科とカンファレンスを共催しており、化学療法や放射線治療などの知識を得て、適切な治療方針を構築することができる呼吸器外科医となることです。それらの治療経験を積むことによって呼吸器外科専門医の取得を目的とした研修を行います。

また、患者さんや他職種と良好な関係を築き、バランスのとれた人格の備わった外科医となることも目標です。

研修内容

初期研修終了後の医師に対し、外科学会専門医取得のため、一般外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、救急部と提携し、到達目標症例数の術者・助手の経験を目標とします。

呼吸器疾患については、外科専門医取得後、引き続き在籍すれば、呼吸器外科専門医取得に十分な執刀数（50例以上）および助手経験数（100例以上）が得られるはずで

当科の特徴

- ① 肺癌、縦隔腫瘍、気胸などを中心に呼吸器領域全般にわたる外科疾患を幅広く診療しています。年間の総手術件数は約 350 例。とくに原発性肺癌の切除数は年間約 200 例以上であり、全国的に常に上位にランキングされています。件数のみならず、技術的にも治療の質的にも全国レベルにあるものと自負しています。手術は基本的には胸腔鏡を使用した低侵襲手術を行っております。そのほか、拡大手術、術前導入療法後の手術、人工気胸下縦隔手術など、症例に応じて適応を決定しています。
- ② 学術活動については、毎年、日本呼吸器外科学会、日本肺癌学会を中心にて情報発信しております。

③ 西日本がん研究機構（WJOG）、瀬戸内肺癌研究会（SLCG）、岡山大学呼吸器外科研究会（OUTSSG）に所属し、臨床試験に積極的に参加しております。

④ 毎週水曜、木曜の早朝に術前・術後カンファレンスおよび抄読会を行い、治療方針の検討や医療知識のアップデートを行っております。また、毎週月曜、金曜の早朝に外科合同カンファレンスに参加しています。

概要

医師数	スタッフ 5 名・後期レジデント 1 名
病床数	19 床
外来患者数延数	5,537 人（2018 年）
在院患者数延数	5,855 人（2018 年）
退院患者総数	402 人（2018 年）
平均在院日数	13.3 日（2018 年）

手術件数(2018 年)

全手術	340 例
原発性肺癌	202 例
転移性肺腫瘍	35 例
縦隔・胸壁腫瘍	25 例
気胸・嚢胞性肺疾患	48 例
レジデント執刀数	98 例